

1 調査対象・有効回収率

| 調査対象 | | 有効回収数 | 有効回収率 | |
|------|--------------------------------|-------------|-------|-------|
| 管理者編 | 病院 | 全数 | 373 | 58.2% |
| | 有床診療所 | 全数 | 98 | 27.7% |
| | 無床診療所 | 抽出 | 320 | 44.1% |
| | 助産所 | 抽出(分棟施設は全数) | 79 | 40.3% |
| | 訪問看護ステーション | 全数 | 377 | 61.5% |
| | 介護老人保健施設 | 全数 | 84 | 41.6% |
| | 介護医療院 | 抽出 | 2 | 40.0% |
| | 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) | 抽出 | 142 | 52.0% |
| | 特定施設入居者生活介護施設(有料老人ホーム等)養護老人ホーム | 抽出 | 150 | 37.9% |
| | 居宅サービス事業所(通所介護・訪問入浴) | 抽出 | 150 | 38.3% |
| | 看護小規模多機能型居宅介護事業所 | 全数 | 13 | 31.7% |

| 調査対象 | | 有効回収数 | 有効回収率 | | |
|------------|--------|---|-------|-------|-------|
| 従事者編 | 看護職員編 | 看護師等の免許を有し、調査対象施設で看護業務に従事している者 | 抽出 | 3,980 | 51.4% |
| | 看護補助者編 | 調査対象の病院・有床診療所に従事している者 | 抽出 | 1,349 | 55.5% |
| 離職者編 | | 看護職員を離職し、都内に就職を希望しているナースバンク登録者 | 抽出 | 237 | 18.5% |
| 教育機関・養成施設編 | | 看護師等の教育機関・養成施設の管理者(大学院・大学・助産学専攻・養成所・高等学校) | 全数 | 77 | 79.4% |
| 看護学生編 | | 教育機関・養成施設編の調査対象施設に在籍している看護学生(最終学年) | 抽出 | 459 | 76.5% |

2 調査内容

| 対象 | 主な調査項目 | |
|------------|--|---|
| 管理者編 | ◆基本情報(施設情報・実績)◆6年後の看護職員数の見込み ◆看護職員の就業状況・退職状況 ◆採用状況(採用者数・採用の取組・ナースバンク等の利用状況) ◆定年について(制度の有無・定年退職後の看護職員の雇用意向、雇用形態、期待する役割)◆定着について(勤務状況、定着のための取組、研修・教育体制・専門看護師等の配置、特定行為研修等) ◆その他(届出制度・期待する都の支援) ◆看護補助者について(就業状況・採用状況・研修等) | |
| 従事者編 | 看護職員編 | ◆基本情報(属性、雇用状況) ◆看護職員としての職歴(勤務年数、退職(転職)状況、前職場の退職理由、現職場を選んだ理由、就職先を探す際利用した募集ツール)◆6年後の将来像・看護職員としての今後の働き方 ◆定年退職後の働き方(施設・雇用形態・希望の給与額・夜勤業務) ◆その他(ナースプラザ事業の認知・利用状況、届出制度の理解) |
| | 看護補助者編 | ◆基本情報(属性、持っている医療介護系の資格) ◆看護補助者としての業務(主として働いている部署、雇用形態・夜間の勤務状況、行っている業務)◆看護補助者になる前(直前の職業・看護補助者を選んだ理由・求人情報の取得先) ◆看護補助者としての職歴(通算勤務年数、現職場での勤務年数) ◆6年後の将来像 |
| 離職者編 | ◆基本情報(属性、勤務年数、現在の就業状況) ◆現在就業している人の状況(就業につながった理由、就業までの離職期間、前職場の退職理由等) ◆現在未就業の人の状況(経験施設数、退職理由、再就業の意向) ◆その他(ナースプラザ事業の認知度・利用度) | |
| 教育機関・養成施設編 | ◆基本情報(施設情報・学生の定員)◆看護教員の状況(在籍状況・採用状況・6年後の看護教員の見込み・看護教員採用活動・退職状況・研修の実施) ◆学生の状況(入学・退学の状況、学生確保の取組、奨学金・減免制度、就業動向) ◆就職支援の状況 ◆実習施設の状況 ◆その他(届出制度の認知度) | |
| 看護学生編 | ◆基本情報(属性・入学前の状況) ◆修学等(看護職を目指した時期・理由・修学資金の利用状況) ◆卒業後の進路(決めた理由・進路先・就職後の不安) ◆その他(看護職としての働き方) | |